



第5号 令和4年7月15日発行

社会福祉法人 和歌山つくし会

本部 和歌山県和歌山市吉礼字八ツ井486番地の1  
TEL:073-488-7470  
FAX:073-478-1900  
事務局 和歌山県岩出市中迫665  
TEL:0736-69-1772  
FAX:0736-69-5251

## 特集「私の心躍る！その時」

### 1. 新任挨拶

飯塚 忠史 つくし医療・福祉センター センター長  
林 龍太郎 和歌山つくし会 参与  
小浦 由加里 つくし医療・福祉センター 地域在宅支援部 部長  
中前 鹿奈 つくし医療・福祉センター 療育部長  
上山 輝子 和歌山乳児院 看護部長  
尾上 恵 つくし幼保園 事務員

### 2. 「私の心躍る！その時」

「宝塚と私」 前田 典子 つくし幼保園 副園長  
「世界ぶらり一人旅」黒川 真由美  
つくし医療・福祉センター 事務員

### 4. つくしっ子インタビュー！

「和太鼓人生、かっとなせ！」 峯本 雄貴  
つくし医療・福祉センター 保育士

### 6. 利用者家族の声

「つくしの里こども園の先生たちへ」  
イタリア人パパからの感謝の手紙  
「医療的ケア児・者 支援関係の皆さまへ」  
家族有志一同

### 8. つくしっ子もふもふニュース！！

松本恵実 広瀬幼保園 保育教諭

### 10. つくしっ子 イタリア倶楽部

ローマの売り子たち

### 12. ある日の乳児院日記



つくしジャーナル  
第5号だニャ～

### 3. つくしっ子連載

連載第5回 森下 宣明  
和歌山つくし会 常務理事  
連載第4回 紀平 省悟  
つくし医療・福祉センター 小児科部長  
連載第2回 川野 琢也  
つくし医療・福祉センター リハビリ課 課長

### 5. つくしっ子ニュース！

其之巻 令和4年度新規採用並びに人事異動  
其之貳 広瀬幼保園ニュース！

### 7. 上田 優さんへ

「在りし日を偲んで」  
つくし医療・福祉センター  
第一療育棟 スタッフ一同

### 9. つくしっ子レポート！

奥純子医師 37年間の功績を祝う会

### 11. ハラスメントはゆるしません！

### 13. 編集後記



## センター長就任挨拶

つくし医療・福祉センター センター長

飯塚 忠史

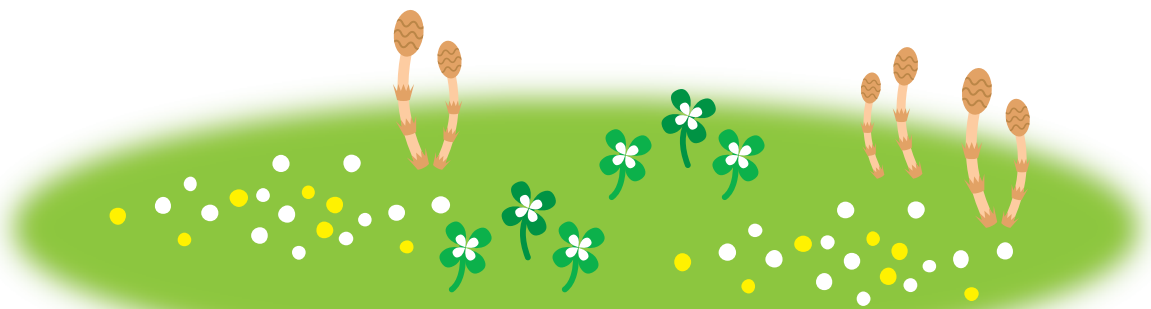
このたび令和4年4月から林 龍太郎 前センター長の後任として、院長兼務のセンター長を拝命しました。前センター長同様ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、最近では日本社会の人口減少や長年の不景気、さらに2年前からの新型コロナウイルスのパンデミックのため、和歌山つくし医療・福祉センターの運営上、多くの困難が持ち上がっています。さらにこれから、ロシアのウクライナ侵攻による国際情勢も種々の変化に拍車をかけることでしょう。この社会的嵐の中で、重症心身障害児・者施設も大きな変革期にあります。新型コロナパンデミックにより、施設運営における大きな経済的負担やスタッフ・入所者が心身両面の負担を負うなど、今後Afterコロナ、またはWithコロナの中で、いかに生き残るかが各施設の大きな課題となっています。また、在宅障害児とその家族支援の制度の構築も進んでいます。当センターにおいては令和4年4月1日から地域在宅支援部を新設する組織改正を行い、各々の部門がどのような機能を果たしていくのかを明確にして連携を行い、地域の中できちんと生きる施設を目指します。

当センターは地域における支援システムの環の中で、入所施設、短期入所、センター的リハビリテーション施設の機能を担い、さらに相談室の働きも強化します。また、当センター外来で行っている発達障害医療も、社会における役割（立ち位置）を明確にしていく必要があります。

これらを実践する中で、安定した施設運営を行い、入所者さんの生活を豊かなものにするよう努力してまいります。

私の前に今大きな困難が立ちはだかっていることを意識して少しビビっています。しかし、一面そんな困難を突破しなければならないことに「心躍っている」私もいることを報告して、センター長就任の決意表明に代えさせていただきます。





## 「退任挨拶」

### ・・・重症児施設を振り返って・・・

和歌山つくし会 参与

林 龍太郎

私事、令和4年3月31日をもって和歌山つくし医療・福祉センター長を退任いたしました。

その間、皆様方には大変お世話になり、深く感謝申し上げます。

振り返ると昭和55年5月1日、社会福祉法人和歌山つくし会 重症心身障害児施設「岩出療育園」に指導員として入職し、平成8年5月1日に広瀬保育所園長、平成9年4月1日に和歌山乳児院へ異動し、平成13年4月1日、桃山療護園、和歌山つくし医療・福祉センターと異動してきました。

全施設を振り返るとページが足りなくなるので、今回は桃山療護園から和歌山つくし医療・福祉センターへの道のりを振り返りたいと思います。

桃山療護園は定員50名の重症児施設で事務員2名、医師は奥園長と津田先生の2名、看護婦は船津看護婦長（現・評議員）を含め20名程度、福祉職も20名程度の小規模施設（重症児施設としては）でしたが、利用者さんと職員との心温かい交流や地域の積極的な交流が出来ており、本当に地域に密着した明るい施設の印象をもちました。

ただ、着任するなり、奥園長からは当直医の確保、船津看護婦長からは看護婦確保、地域からは、路上駐車問題、消防からは避難場所確保、行政からは在宅支援事業への取り組みと多くの課題がありました。

当時、桃山療護園は、在宅事業としては空床利用のショートステイは実施していましたが、満床のため、利用実績はほぼ0人、また、入浴サービスも実施していましたが、こちらも利用数は0人でした。

そうした中で、岩出療育園が全面建て替えに向け、本格的な検討を岩出療育園内部でスタートし、桃山療護園は駐車場問題、利用者の緊急避難場所確保、在宅支援事業を各施設で検討を進めてきました。平成15年4月、障がい者のための支援費制度が施行され、利用者が自らサービスを選択し契約に基づき利用することで利用者本位のサービスが受けられる制度でしたが、重症児施設の利用が措置から契約に代わる可能性が出てきたことで、当時は措置制度と診療報酬の上向き改正に守られ、満床であれば、運営や施設の建て替えなどをあまり気にしなくて良い時代でした。

当時の重症児施設の事務長さんたちとは、福祉に競争社会の論理をあてはめるのかと不安な気持ちで幾度となく議論したことを覚えています。

そうした制度改革の中、桃山療護園では避難場所及び駐車場確保のため、当時の山下桃山町長の全面協力の下、桃山療護園南側の用地を確保、つづいて、在宅支援のための知的障がい児を対象とした「児童デイサービス」の開設に向け、取り組みを始めました。

しかし、医師及び看護婦確保には手をつけられず、重度の障がい児者の受け入れが困難な状況は続いていました。

平成15年度にスタートした支援費制度は、在宅支援サービスの充実が図られましたが、国の財政問題が発生し代わって、平成18年に障がい者自立支援法が施行されるとの情報をキャッチしたため、ことは大きく変化しました。

平成17年には、岩出療育園の建て替え計画が進んでいましたが、障がい者自立支援法の施行に伴い、平成18年度からの入所は児童相談所の措置から市町村の認可と入所者個人との契約へと移行するようになり、入所条件が障がい程度区分により最重度で医療が必要でないと入所できなくなることがわかってきました。

当然、障がい程度区分が重く、医療を必要とする人でなければ入所できなくなると、岩出療育園、桃山療護園の医療体制では、受け入れ困難となること、また、桃山療護園の将来的な建て替えを考えると統合するしかないと考え、当時の井上岩出療育園園長、松本事務長、奥桃山療護園園長、川口理事長、中谷事務局長と私で協議し、医療体制も含め統合する方向での検討に切り替え、理事会・評議員会で承認を得ましたが、当初、岩出療育園単独の建て替え計画から急遽、統合となったことから、和歌山県との協議、資金の問題、医療体制をどのようにするか等の問題が大きいのしかかってきました。

中でも、医療体制（医師・看護師の確保）には、和歌山県療育研究会で活躍されていた、有田市民病院の月野先生（現・名誉院長）と出会えたことは、医師確保や医療の充実に向けた足掛かりを作っていただき、現在のつくし医療・福祉センターの大きな礎になりました。

後は、建て替え資金の問題でした。和歌山県も統合とは考えておらず、資金計画の見直しを指示され、和歌山県からは全面支援を打ち出していただきましたが、国からの補助金が認められない状況でした。

そのため、日本重症児施設協会 江草理事長、住原局長からも厚生労働省に働き掛けていただき、西国会議員（当時厚生労働副大臣）にも建て替えの必要性をアピールして、国からの補助金の承認も得られ、平成18年工事着工となり、平成20年に現在の和歌山つくし医療・福祉センターが完成しました。

当時はこんなに大きい施設が必要かと思われましたが、十数年も経過し、障がい者施策も変化する中で、現在までに地域在宅支援に係る増築や改修が進んでいます。

最後になりましたが、役員の先生方、施設長、職員の皆さんと共に働けたことに感謝いたします。これからは、法人参与として、谷本理事長を中心とした和歌山つくし会に少しでも協力できればと思っております。また、飯塚センター長を中心とし、中・長期構想において枠組みを整え、更なる発展を祈念いたします。



## 「新任の挨拶」

つくし医療・福祉センター 地域在宅支援部長

小 浦 由加里

4月から新しくできた地域在宅支援部門でお世話になります。

私が担当する部署は訪問看護・介護ステーションと多機能事業所と地域連携室と外来になります。

今後は、在宅で生活する利用者やその家族の支援をおこなっていきます。現状では、医療的ケア児は2020年に全国で約2万人。新生児医療が進み、救える命が増え、10年前に比べると約2倍に増え、県内には約100名います。外来部門では、発達障害、重症心身障害者、遺伝疾患と幅広い障害児が受診しています。また、発達障害児の診察やリハビリ、臨床心理士による発達検査も年々増加しています。この現状を把握した上で、和歌山県、岩出市ではどのような支援が必要なのか、どのような支援ができるのか考え、地域在宅支援部門で対話を重ねながら利用者家族の声を聴き、考えていきたいと思っています。

在宅の利用者の方が住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、関りを持っていきたいと思っています。家族の方は365日24時間介護や看護をおこなっています。家族の方の思いや希望に寄り添い、看護や介護等使える資源を提供できるようにトータルサポートできるようにしていきたいです。



## 「新任の挨拶」

つくし医療・福祉センター 療育部長

中 前 鹿 奈

今年度から小浦部長が地域在宅支援部に異動となり、私も微力ながらお手伝いをさせて頂きたいと思ひ療育部長を受けることになりました。昨年は副療育部長として管理業務を学ぶ中、認定看護管理者教育課程研修を受講させて頂きました。看護師として自己研鑽しながらも、家庭と両立し看護師を続ける事に重きを置き、看護管理については学ぶ機会がありませんでした。研修で学んだことを活かしながら広い視野をもち、自己研鑽に励み、意欲をもって望んでいく所存です。

さて、新型コロナウイルス感染症も落ち着く気配が見えず、この2年で私たち、利用者さんの生活様式はがらりと変わってしまいました。これからも利用者さんの生命を守る事に変わりはありません。

しかし、規制された生活の中、少しでも利用者さんの生活がより良く豊かになるように皆様のお力をお借りし、一緒に取り組んでいきたいと考えております。

私はつくし医療福祉センターに入職するまでセンターの事を知りませんでした。入職し重心看護に携わる中、自分の看護師としての経験はここに来るためにあったのだと思っています。初めて子どもを保育所に通わせたのが広瀬保育所（現広瀬幼保園）だったという事もつくし会とのご縁を感じております。

皆様からのご指導、ご鞭撻の程どうぞよろしくお願い致します。



## 「新任の挨拶」

和歌山乳児院 看護部長

上山 輝子

以前研修で、「私たちには仕事を選ぶ権利がある」と言われた言葉が印象的でずっと心に残っています。何故そのようなことを言われたのかというと、「あなたは誰かに無理やり連れてこられて、強制されて働いているのですか？きっと皆さんは自分の意志で職場を選び、自らが応募して試験・面接を受け働いているでしょう。そこで働くと思ったのも自分だし、辞めようと思っても自分です。だからもう少しうまくいかない場合はまた、選び直せばいいのです。」その言葉を聞いて、確かに私自身が桃山療護園で働きたいと思い、つくし会に入職したことを思い出しました。

その後つくし医療・福祉センターへの合併や和歌山乳児院への異動を経て、この度看護部長を受けることになりました。色々な不安や葛藤はありましたが、結局最後にやってみようと思ったのは自分でした。これから壁にぶち当たっても、心の中で「自分で決めたのだからできることはやろう」とつぶやいているに違いありません。そして乳児院の可愛い子どもたちの笑顔に癒されて頑張っていけると思っています。まだまだ未熟で至らないことも多くありますが、どうぞよろしくお祈りします。



## 「新任の挨拶」

つくし幼保園 事務員

尾上 恵

この4月につくし医療・福祉センターからつくし幼保園へ異動となりました。

思えば事業所内保育所に始まり、センターから乳児院を経て再びセンターと勤務地が変わり、仕事内容もそのたび新しく覚えることが多く、周りの人にたくさん助けてもらいました。異動ばかりでしたが、一緒に仕事をした仲間に恵まれてどの部署も楽しかったことばかりが思い出されます。

事業所内保育所では、子どもと一緒に遊具のある公園を探し、雑草を摘みながら散歩をしたこと、本物のミッキーとミニーを見て喜ぶ乳児院の子ども（と職員）、本部事務局に異動をしての最初の決算は何もわからず、心がおれてしまいそうなくらい忙しかった事を、今でもみんなで笑いながら話したりしています。

どの部署もみんなで協力しながら楽しく仕事をさせてもらいました。私のモットーは仕事も楽しくです。利用者の方の笑顔のため、子どもの笑顔のため、また自分と周りの人も笑顔でいるため、事務職なので陰ながら力になれるよう頑張っていきたいと思っています。

つくし幼保園への異動も素敵な出会いにつながりますように・・・。



## 私の心躍る！その時 「宝塚と私」

つくし幼保園 副園長

前田典子

今回このお題を頂きましたので、私の＜宝塚歌劇団愛＞を書かせていただきます。

まずは宝塚歌劇団の基礎知識について、検索サイトによりますと、「宝塚歌劇団は、1914年に初の公演を行って以来今日も人気を集め、現在は花・月・雪・星・宙の5組に分かれ公演を行っている。」と掲載されています。

宝塚歌劇団と聞くと皆さんから“敷居が高い”“チケットが取りにくい”“一度見てみたい”等々の声をよく耳にします。私も初めはそんなイメージを持っていました。

私が初めて見た公演は、かの有名な「ベルサイユのばら」でした。旧大劇場で3階席から覗き込むように舞台を見たのを覚えています。幕が開くと、派手！！舞台セットと衣装が豪華！！生のオーケストラの音が最高！！と思い、話が進むにつれ物語の中に引き込まれ、ダンスに心踊り、オスカルの死に涙し、3時間の公演があつという間でした。それから宝塚通いが始まり、私設ファンクラブに入り、たくさんの愛と癒しをもらい、大好きなトップスターさんのさよなら公演を見送り、濃密な青春時代を過ごしました。

そして今、二度目の宝塚愛へと足を踏み入れ始めています。宝塚は心踊るだけでなく、私の心を癒し、元気にし、明日への活力へといざなってくれます。

先日、花組トップスター“<sup>ゆずか</sup> 柚香 <sup>れい</sup> 光”さんが千秋楽にて次のように挨拶されていました。「生まれた国や過ごしている場所に関わらず、あらゆる人が音楽や芸術を楽しんで、大切な人と笑いあえる、そんな日々が少しでも多くあるように強く願わずにはられません。どうか皆さま、笑顔が溢れる素敵素敵な春になりますように、心から願っております。」愛が溢れ、私を癒してくれる宝塚、どうぞ皆さま一度ご覧になってみてください。百聞は一見に如かずですよ。





## 私の心躍る！その時 「世界ぶらり一人旅」

つくし医療・福祉センター 事務員

黒川 真由美

私の心躍る！その時…それは海外の空港に降り立った瞬間です。雑踏と喧騒、けたたましいクラクションの音、独特の空気と匂いが身体に纏わり付いて来るカオス。それらの全てに心が躍ります。

若い頃、とにかく海外を歩き回ることが好きで、あちこち旅をしました。所謂ツアーというのではなく、往復のAirチケットのみを握りしめ、宿も決めず、その場その場で、さあ次はどうする？という場当たりの旅です。日本では感じた事のない、何が起こるかわからないワクワクした気持ちが沸き上がって来る旅、これはもう、癖になり、帰国して3か月もすると禁断症状が現れます。「ああ～旅に出たい！」そしてまた新たな目的地に向かって旅立ちます。中でもエジプトへの旅は、人生史上この上なく心が躍りました。何度もテレビの中で見ていた数々の遺跡が目の前に現れた瞬間、タイムスリップした様な、異次元に引き込まれた様な、非現実的な空間に鳥肌が立ちました。巨大な石を積み上げたピラミッド、俯瞰で見るそれからはわからない一つひとつの石の大きさに驚き、どの様に運んだの？どう積み上げたの？と考えると、時が経つのも忘れ、妄想が止まらなくなりました。悠久の時の中で確かに生きていたであろうファラオ達の見た景色を、時を経て、自分も見ている…。そして…感動に浸っていると…次に移動する為の飛行機に乗り遅れました。まあ、何とかなるか…。次のフライトまで3時間、1人くらい席はあるでしょ？と。大きな遺跡を見たら、細かい事を気にすることが馬鹿馬鹿しくなりました。売店の売り子さんと、エジプトの事、歴史、日本の事など色々話をするうちに、自分は母国の事をきちんと外国の人に説明できないなあ、愛国心が薄いなあ、宗教感がないなあと改めて感じました。とはいえ、お互いの国の事を話すのがとても楽しくて、現地の人とのふれあい、これが私が旅をする理由だなあ…。多分この時、私の人生観が大きく変わったと思います。

そんな私の影響か、息子もリュック一つで1年かけて世界を1周し、今はオーストラリアで暮らしています。次は、どこの空港で落ち合う？と2人で計画するものの、コロナの流行や、ウクライナ情勢など、海を渡り難い時代になりました。人々が其々の考え方や思いを尊重し、どこでも自由に行き来できる様な日常が早く戻って来る事を切に願いつつ、グーグルマップを見ながら、旅をしているつもりで1人ワクワクしている今日この頃です。







連載 第5回

「こども家庭センター」

和歌山つくし会 常務理事

森 下 宣 明

令和6年4月1日を施行期日として、各々の市町村に、全ての妊産婦・子育て世帯・子どもの包括的な相談支援等を行うことを目的とした「こども家庭センター」が設置されます。

これは、児童虐待の相談対応件数の増加（令和2年度は全国で20万件を超え、和歌山県においても1,726件と年々右肩上がりの状態が続いている。）など、子育てに困難を抱える世帯が、これまで以上に顕在化してきている状況等を踏まえ、子育て世帯に対する包括的な支援のための体制強化等を行うため、児童福祉法等の一部を改正する法律案として今国会に提出されている中の一つです。

これまで、各市町村の児童福祉の分野では「子ども家庭総合支援拠点」が635自治体に716か所、母子保健の分野では「子育て世帯包括支援センター」が1,603自治体に2,451か所（令和3年4月時点）設置されていて、それぞれが別々に支援を行ってきていました。

	子育て世帯包括支援センター	子ども家庭総合支援拠点
和歌山市	市内4か所の保健センター	子ども総合支援センター
岩出市	ぎゅっとふるいわで（あいあいセンター）	————
紀の川市	はぐくみサポート（市役所 こども課）	————

今回の制度改正により、和歌山市のように、両方の制度がある市でも、岩出市や紀の川市のように一方の制度しかない市においても、これらの設立の意義や機能は維持したうえで組織を見直し、一体的に相談支援を行う機能を有する機関「こども家庭センター」の設置に努めることとなりました。

また、「こども家庭センター」は、妊産婦、子育て世帯、子どもが気軽に相談できる子育て世帯の身近な相談機関として、保育所、認定こども園、幼稚園、地域子育て支援拠点事業など子育て支援を行う施設・事業を行う場の整備に努め、これらと密接な連携をとり、妊娠届から妊産婦支援、子育てや子どもに関する相談を受けて様々な支援メニューに繋ぐためのマネジメント（サポートプランの作成）を担うこととなります。

当法人内においても、認定こども園（広瀬幼保園・つくし幼保園）が2か所、地域型事業所内保育所「つくしの里こども園」、病後児保育室「きらら」、里親支援センター「なでしこ」、和歌山乳児院のショートステイ事業、和歌山つくし医療・福祉センターの地域連携室・つくしの里相談支援事業所・多機能型福祉事業所「つくしの里」等、多くの方々が利用する身近な相談機関として幅広い支援を行っていますが、今後ますます多様化する子育て支援ニーズに応えるため、日々研鑽に努め、市町村の「こども家庭センター」と連携し、一人も取り残さない切れ目のない支援に繋げていくことが重要だと思えます。



## 連載 第4回

## 「水平の対話と垂直の対話」

つくし医療・福祉センター 小児科部長

紀平省悟

## ■他者との対話（水平の対話）

毎日、ウクライナの報道に接するたび気持ちがふさぎます。対話が成り立たない場、それは理不尽な力の支配する場…。戦争の話から始めましたが、わたしたちの日常でも対話がおびやかされることはあります。個人と個人、組織と組織、部門と部門とのあいだの公正な関係が危うくなることは少なくありません。もちろん集団には規範があり、トップダウンの管理体制も必要ですが、構成メンバー同士は互いに平等な関係をめざしたいものです。

基本的な作法を守ることで、あるべき「水平の対話」のスタートに立つことはできるでしょうが、それだけでは不十分です。大きな声に場をゆだねることなく、多様な声を共存させるためには、さらに一歩進んだ研鑽が欠かせません。骨は折れますが、望ましい対話とは他者のまなざしのもとに我が身をさらし、ありのままの自分に向きあう場でもあるからです。

## ■自己とむきあう（垂直の対話）

他者と対話することで生じる、もうひとつの対話があります。それは自分の内なる声との対話です。内なる声は強い自己主張の言葉をもつこともあれば、恐怖にふるえていることもあります。こうした声のせいで他者の声を聞き続けることが難しくなることさえあります。それはわたしたちの理念やプライドからくるものだったり、過去の失敗や傷つき体験に根ざしていたりします。

いずれにせよ内なる声の源は自分ではなかなか気づかない心の闇のなかにあり、承認を受けたい、否定されたくないという、それ自体はほんらい健全な欲求といえます。オープンダイアログの創始者たちは、これら内なる声と向き合うことを「垂直の対話」と呼んで重視しています。そもそも良き対話は水平と垂直の二つの対話が十分に交わされる場に成立するからです。

ところが権威を振りかざす人物の心の闇には、誇大妄想と万能感にとらわれた傲慢な自己と、見捨てられることにおびえる卑小な自己という、ひき裂かれたふたつの自己が潜んでいる——オーストリアの精神分析学者ハインツ・コフトはそんなふうを考えました。いずれの自己もしょせん幻影なのですが、このようなマインド・セットはありのままの自己との対話をさまたげ、他者からの声を封じてしまいます。コフトはこのようなパーソナリティの成り立ちを記しましたが、同じことはある程度だれの心の奥底にも折りたたまれているのではないのでしょうか。

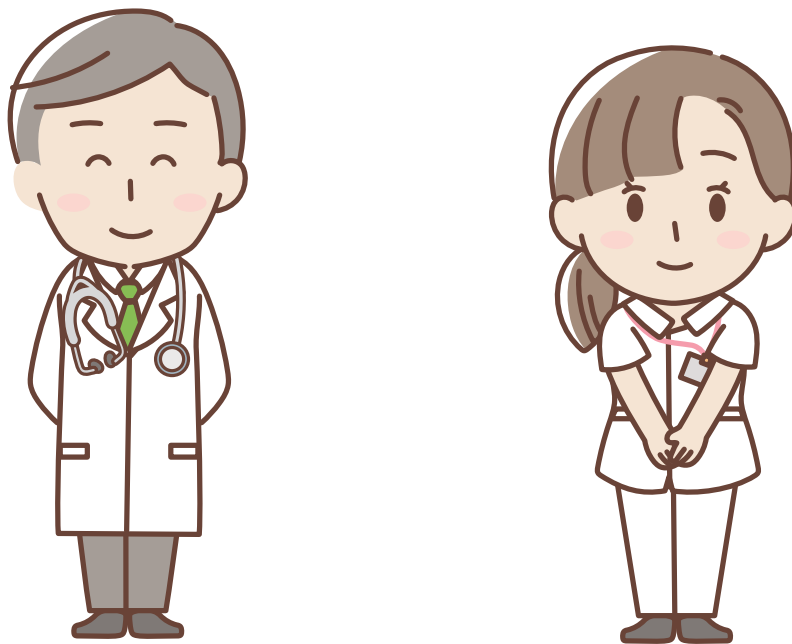
オープンダイアログの公式研修では、自身の生い立ちについて語るプログラムが必須とされています。参加者は小グループで互いの語りを聴くのです。この研修プログラムは自身の心の闇

を照らし出す深い体験をもたらします。対人支援職はできればそのような自己研鑽を積むことが望ましいでしょう。

### ■対話の基本は三者

診療やサイコセラピーのような治療的対話とは別の、もっとふつうの話し合いの場——たとえば廊下の立ち話から組織の幹部会議にいたるまで——でも、水平と垂直の声が錯綜するため、それらをときほぐすスキルが大切になってきます。日本語では主語が省かれることが多いので、声の本当の主がいったい誰なのか、こんがらがってしまいがちです。自分の困りごとがいつのまにか相手が解決すべき課題にすりかわっていきたりするのです。

あらためて、わたしたちには基本的な対話の訓練が欠けていることに気づきます。昔から「三人寄れば文殊の知恵」といいますが、話す人、聞く人、そしてそのやりとりを観察する人という役割交代をスムーズに実践することは、それほど難しいのです。





## 連載 第2回

## 「イタリアで見つけた共生社会のヒント」

つくし医療・福祉センター リハビリテーション課 課長

川野 琢也

イタリアに到着して最初に訪れたのはローマ市内にあるバチカン市国内のバチカン博物館でした。バチカン博物館は、歴代ローマ教皇の収集品である絵画・彫刻・タペストリー・地図など様々なコレクションを収蔵展示しています。24のエリアで構成されており、その規模は世界最大級です。

さて、みなさんは視覚障害がある方の美術鑑賞について想像したことはありますか？多くの方は、美術鑑賞の際には、ほとんどの情報を目（視覚）から得ているのではないのでしょうか？バチカン博物館では視覚障害者だけでなく、聴覚障害者など他の障害があっても美術鑑賞ができるように、全身の五感を使って鑑賞する仕組みが設けられていました。その仕組みについて写真を用いながら紹介します。



写真A

## 写真A

## 【彫刻】

彫刻が登場する神話のストーリーや時代背景などを解説し、それにまつわる小道具も準備されている。写真は彫刻の左手の指差した先の地面に笛が置かれている場面。実際に彫刻と同じポーズをとり全身を使って彫刻の全体像をイメージするなどの工夫もされている。

## 写真B

## 【彫刻】

実際の彫刻に触れて説明を受ける。ガイド（左側）は視覚障害者の当事者であり、彼女に手を添えてもらい、全身を触りながら繊細で丁寧な説明を受ける。



写真B



写真C

写真C

【絵画】

描かれている楽器や人物が着ている服を当時の製法で再現し、実物を使って鑑賞する。楽器の形や重さ、そして音色、織物は繊維の質感や匂いなどで鑑賞する。

写真D  
この絵画に描かれているのは天使で、天使のささやき声を再現したチャイムも用意されていた。チャイムは手から振動も伝わってくるため、聴覚障害者にも提供されている。



写真D



写真E

写真E

当時の製法で作ったキャンバスや顔料で作成されたレプリカもあり、絵画を直接触って油絵具のわずかな凹凸を確認できる。

写真F  
点字での案内板や立体模型での解説板も用意されており触って確認することができる。



写真F

写真G



写真G

## 【祭壇画】

凹凸のプラスチック版を用いて全体の形や描かれている人物を触って鑑賞する。三角屋根の上部の丸い所に描かれている「天使」はプラスチック版では「羽」で表現されている。天使をそのまま凹凸で表現すると細かすぎて分かりにくいとの当事者の意見を参考にした。

写真H

## 【マップ】

凹凸で表示されたマップや建物の解説文。図の黒い部分は小さな凸点で表現されて建物の輪郭は太い凸線で記されている。文字は点字ではなく凹凸のイタリア語で記入されていた。



写真H

上記のように、これら「鑑賞」するためのアイデアは当事者の意見を基にしています。さらに、鑑賞する際には当事者のガイドが同行し、ピアtoピアで解説することで、感覚的にもより近い「鑑賞」を提供することが可能となっています。もちろん、バチカン博物館は車椅子やベビーカーなどの利用者が鑑賞しやすいよう、スロープや障害者用トイレなどのバリアフリー化もされており、ハード面への配慮もされていました。その他には障害者の入館料は無料で、並ばずに入館できるなど優先の配慮もされていました。

このバチカン博物館で最も印象的だったことは、これら様々な障害者に対する取り組みを検討し進める際には、障害のある当事者がミーティングに参加し、当事者の意見を取り入れていることでした。一方的な考えや提案でできあがった押しつけのサービスを提供するのではなく、当事者の立場に寄り添った博物館になるよう心掛けていました。学芸員の方が「私たちは（障害者がどのようなサービスを求めているかについて）素人。プロ（当事者）に関わってもらっています。」とおっしゃっていました。このような考え方が【共生社会】を築くうえで重要になってくるのではないかと、初日にヒントをもらいました。



## つくしっ子インタビュー！

### 「和太鼓人生、かっとばせ！」

つくし医療・福祉センター 保育士

峯本雄貴

本日はつくし医療・福祉センターの保育士、和太鼓チームIKORAのリーダーとしても活躍中である峯本雄貴さんのインタビューに参りました。

和歌山つくし会も今年度は通常運営を目指すとともに、センターでの色々なイベントが復活出来ると思います。

連日TVからはコロナや戦争など暗いニュースばかり聴こえてきて、憂鬱になりがちですが、今日は響き渡る和太鼓の音とリズム、その勇壮さと魅力について語っていただきましょう！

#### 1. どんな動機で和太鼓演奏を始められたのですか？

和太鼓に最初に出会ったのは15才の時、学校のクラブです。

元々スポーツ好きで、中学時代はハンドボール部でしたが、紀北農芸高校に進学し、和太鼓部に入りました。それが最初の出会いです。もう、かれこれ20年になります。

#### 2. 20年ですか！それはすごいですね！それにしても、高校の和太鼓部ってめずらしいですよね？その後はどういう展開だったのでしょうか？

高校では通常の教科と農業について学ぶ中、和太鼓がもともと農村文化の一部でもあったことから、部活として盛んだったのだと思います。

私自身、和太鼓を続けていくうちに、その楽しさや感動を自分だけでなく、子どもや障がい者の方たち、色々な人たちに知ってもらいたいと思うようになりました。そしてもっともっと人と触れ合う機会が欲しいと考えるようになりました。

高校卒業後、南海福祉専門学校で保育士の資格を取り、卒業後はプロの和太鼓チームと共に活動を始めました。

そして縁あって和歌山つくし会に入職しましたが、自分が演奏活動をしていることを職場の皆さんが気持ちよく認めて下さっていて、本当に感謝しています。

#### 3. ズバリ和太鼓の魅力とは？

まず、「打てば鳴る」ということです。誰にでもできるシンプルな楽器です。でも、奥が深いのです。

その音は、奏者の心と体に響き、同時に聞いている人に伝わり、元気を伝えられる。

悩んでいた人、一歩踏み出せなかった人に「元気を貰えた！」と感想を言われることがよくあります。その時は本当に嬉しいです。

#### 4. 自分の元気が人に伝わり、共に元気になる・・・素晴らしいことですね！

もともと、アフリカやアジアを源とする和太鼓を含むリズム・パーカッションは、楽器の中でも最も根源的なものですよ。

和太鼓演奏には大変な気力と体力が必要とされることと思いますが、練習や体力作りのトレーニングは大変ではなかったのですか？

週3回高野山に通って、身体作りの基礎トレーニング、基礎練習、曲打ち練習、楽器の手入れなど大変でした。そのうち自分の身体がそれに馴染んできたように思います。

#### 5. 和太鼓演奏の舞台では、ほかの楽器も演奏されるのですか？

はい、26才から和太鼓のステージで合奏に使う津軽三味線も演奏します。

獅子舞もあります。獅子舞はステージだけでなく、地域の祭礼などで舞うこともあります。

獅子舞は獅子の動きが難しいです。人が踊っているように見えてはいけなくて、中々大変ですが、精一杯気持ちをのせて踊ります。

#### 6. 和太鼓パワーは人生にどのような影響を！？

やはり、元気とパワー、力が漲る、ということです。

それが自分の人生も変えられる・・・自分も変わったと思います。

2011年に和太鼓のプロの登竜門、東京で行われた国際コンテストで第3位をいただきました。その後自分に自信を持つことが出来るようになったと同時に、もっともっと精進したいと思えるようになりました。

しかし、和太鼓だけでは自分を変えることが出来なかったと思います。「つくし会」で色々な人との出会いがあり、障がい児・者の方々や職場の皆さんとの出会い、いろいろな事が相互作用して、どんどん前向きに変わって来ました。

もし、「つくし会」に来ていなかったら、和太鼓しか知らない人間になっていたと思います。

障がい児の皆さんの和太鼓への反応や、スタッフの皆さんが応援して下さる温かい心、福祉の仕事をしている和太鼓にこそ意味があるのだと思います。

#### 7. 和太鼓以外に趣味はありますか？

実は洋服が大好きなんです！ 時々セレクトショップで、好きなデザイナーの服を買って着るのが楽しみです。

(そういえば、ヘアスタイルも大変おしゃれですよ 笑)



## 8. お仕事についてはどうですか？

充実しています。今のフロアでは、上司、スタッフ共にコミュニケーションがとても上手くいっていると思います。それが利用者さんにも伝わるため、利用者さん達も穏やかですし、職員は皆良い緊張感と良い雰囲気働いていると感じています。

## 9. 将来の目標は何ですか？

現在紀の川市に住んでいますが、将来は、自分の家の敷地にスタジオを作りたいと考えています。

そこで和太鼓の演奏会を開いたり、生徒の指導をしたり、特に次世代を担う子どもたちに教えたいと思っています。

子どもたちには、和太鼓の楽しさを通じて、頑張れる子になって欲しい。その経験を将来辛いことや苦しいことがあった時に、乗り越えていける原動力にしていって欲しいと思います。障がい児・者の方々にも和太鼓に触れ、感じていただける機会をもっとたくさん作ってあげたい、と思っています。

峯本さんには、夜勤明けにインタビューをお願いしたのですが、お疲れにも拘わらず、大変元気よく、楽しく語って下さいました。有難うございました。これからも仕事・太鼓に頑張ってください！！



# つくしっ子ニュース！！ 其之壱

## 令和4年度 和歌山つくし会 入職式

令和4年4月1日、和歌山つくし会の入職式が行われました。

コロナ禍のため、全員出席できませんでしたが、新入職員4名を含む正規職員7名、人事異動（内部昇格者11名、その他異動者3名）の方々に代表として出席していただきました。

谷本理事長より一人ひとりに辞令が交付され、理事長式辞の後、つくしの里こども園 上山茉莉子保育士が代表者宣誓を行い、つくし医療・福祉センターの飯塚センター長とつくし幼保園の岡園長より激励の言葉をいただきました。

### 正規職員

上山茉莉子	つくしの里こども園 保育士
尾上 恵	つくし幼保園 事務員
岩橋 莉子	つくし医療・福祉センター 作業療法士
小村 陽菜	つくし医療・福祉センター 作業療法士
竹内 ゆきの	つくし医療・福祉センター 言語聴覚士
前代 瞳	つくし医療・福祉センター 理学療法士
川崎 明日香	つくし医療・福祉センター 介護福祉士

### 人事異動（内部昇格者）

上山 輝子	和歌山乳児院 看護部長
田中 孝子	和歌山乳児院 幼児部主任
小浦 由加里	つくし医療・福祉センター 地域在宅支援部長
中前 鹿奈	つくし医療・福祉センター 療育部長
清水 由紀夫	つくし医療・福祉センター 地域連携課課長兼相談支援事業所長
山下 敬子	つくし医療・福祉センター 育成課長
奥田 有美香	つくし医療・福祉センター 看護主任
島田 夫美	つくし医療・福祉センター 育成主任
高石 誠	つくし医療・福祉センター 相談員
飯塚 忠史	つくし医療・福祉センター長（院長兼務）

### 法人再任用

林 龍太郎	和歌山つくし会 参与
-------	------------

### 人事異動

土山 佳子	和歌山乳児院 看護師
大江 静	つくしの里こども園 保育士
南本 有祐	広瀬幼保園 保育教諭



# つくしっ子ニュース！！ 其之弐

## 広瀬幼保園ニュース

### 谷本理事長が広瀬幼保園に来てくれました！（令和4年6月20日）

広瀬幼保園の園児や職員の普段の様子を知りたいと、谷本理事長先生の訪問がありました。

泥んこ遊びや水遊びをしているところ、給食を食べているところ、運動会に向けての練習をしているところなど、各クラスに入られて園児や職員との交流の時間を持っていただきました。

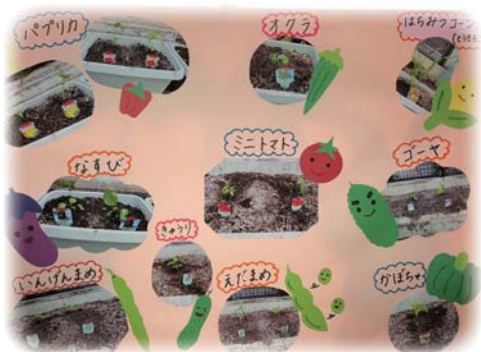
元気に遊ぶみんなの姿を見て理事長先生もエキサイト！  
次回は、ぜひ一緒に泥んこ遊びをしてくださいね！



### きゅうりとってもおいしかったで～！（令和4年6月27日）

広瀬幼保園の園庭菜園で、園児が種を植え、毎日水をやり、「パプリカ」、「オクラ」、「コーン」、「なすび」、「ミニトマト」、「ゴーヤ」、「いんげんまめ」、「きゅうり」、「えだまめ」、「かぼちゃ」を大切に育てています。

最初にとっても大きなきゅうりが収穫でき、クラスみんなでおいしくいただきました。他の野菜も楽しみです。早く大きくな～れ！



**利用者家族の声****「つくしの里こども園へイタリア人パパからの手紙」****Una lettera di ringraziamento da un papà italiano**

Noi Di Pinto Alfio Federico di nazionalità italiana e Tsutsui Chiharu di nazionalità giapponese genitori dei bambini Kai di anni 3 e 6 mesi e Rei di anni 3 e 6 mesi, desideriamo esprimere, in occasione della conclusione del percorso formativo, la nostra sincera gratitudine a tutto il corpo insegnante ed ausiliario dell'asilo Fukushino di Iwade che con spirito di collaborazione e professionalità si è dedicato alla cura dei nostri bambini nei primi passi verso la formazione scolastica con attività di gioco e socializzazione anche attraverso il canto corale e la rappresentazione teatrale. Un particolare ringraziamento alla Direttrice Generale Tanimoto per aver promosso tutte quelle attività finalizzate alla crescita ed allo sviluppo dei nostri bambini. Inoltre, la conoscenza da parte Sua della lingua italiana ha agevolato di molto lo scambio di opinioni tra noi. Con l'unico rammarico che questo percorso debba necessariamente interrompersi a causa dell'età diversa dei bambini, rinnoviamo la nostra stima ed il nostro sincero grazie:

Grazie per aver saputo gestire al meglio anche le situazioni più delicate, come un addio al pannolino più difficile di altri o un inserimento più impegnativo soprattutto in considerazione del trilinguismo dei nostri figli.

Grazie per i bellissimi lavoretti realizzati a Natale e ogni ricorrenza speciale.

Grazie per averci sempre reso partecipi con entusiasmo dei loro progressi e delle loro piccole, grandi conquiste.

Infine, un grazie speciale, forse il più importante, per averci regalato ogni giorno la serenità di sapere i nostri figli al sicuro, amati e coccolati come a casa.

Con affetto e gratitudine,

Di Pinto Alfio Federico      Tsutsui Chiharu

## ディピント アルフィオ フェデリコ ・ 筒井 千晴

私たち、イタリア人のディピント アルフィオ フェデリコと日本人の妻 筒井千晴は3才6か月のカイと1歳6か月のレイの両親として、この度の保育所卒園の機会に「つくしの里こども園」の教職員の皆様に心より御礼を申し上げます。

「つくしの里こども園」の保育は常に献身的かつプロフェッショナルな精神で行われ、集団生活の基礎としての遊び、また、合唱やお遊戯を通して、子どもたちに社会性を身につけさせるための最初の一歩を踏み出させてくれました。

特に谷本理事長には、子どもたちの成長と進歩のために、これらすべての活動を推進していただいていることに、深く感謝しております。

そして、私たちの間の意思疎通は谷本理事長のイタリア語の知識によって、大変に容易であったことも申し添えます。

唯一残念なことは、息子たちの年齢差のため、「子ども園」における課程を中断しなければならないことですが、皆様への尊敬と、心からの感謝の気持ちをもう一度お伝えしたく思います。

他の子たちよりオムツ離れが難しかったとてもデリケートな時期でもあり、また、3か国語の基礎（日本語、英語、イタリア語）について考えていかなければならない重要な時期でもありました。ご理解頂いたうえでの保育、ありがとうございました。

クリスマスや、その他の美しく素晴らしかった行事、またそれらを通して子どもたちの日々の成長、小さな、また大きな発見に私たちも感動しながら参加できたことにも感謝いたします。

最後に、最も特別な感謝をさせていただきます。おそらくこれが一番大切なことだと思います。「こども園」では、息子たちがまるで家にいるように安全で、かつ愛され、可愛がって頂いたこと。私たちは毎日のように、その平穩の素晴らしさを感じる事が出来ました。

愛情と感謝を込めて。

翻訳：谷本美佐子



## 利用者家族の声 「医療的ケア児・者 支援関係の皆さまへ」

### 感染収束を願う医療的ケア児・者・家族有志一同

いつも子どもたちがお世話になりありがとうございます。

新型コロナ感染拡大により、私たちの想像も及ばない忙しさや緊張感に追われる毎日と存じます。心労お察しいたします。

日々、不安を抱かえながら福祉、医療や教育のそれぞれの職場で総力を挙げて奮闘して下さっている皆さまは、感染を広げないようにと常に細心の注意を払い、少しの状況の変化にも緊張しっぱなしの毎日だと思います。

ご自分のしたいことも我慢し、行きたいところへも行けず、ご家族との生活にも影響が出ていることでしょう。

今まさに他の人を思いやり、頑張り続ける皆様に寄り添っていただけることで、私たち医療的ケア児・者、家族も安心感を持つことができます。

そういう皆様に日頃お世話になっている私たちは、改めてありがたさが身にしみ、感謝の気持ちでいっぱいです。

私たち医療的ケア児・者にとってそれぞれの支援がとてもかけがえなく、自分たちの大切なよりどころでもあります。

今、皆様を見守る事しかできない私たちは歯がゆいおもいばかりです。

私たちにできることは、感染を広げないという意識を持つこと、日々皆さまにお会いできた時に元気な子どもたちを見て頂けるように取り組むこと、頑張ってくださいとしている皆様に思いをはせながら、当たり前の日常にも感謝することだと思っております。

ご支援いただいている皆さまとご家族のご健康をお祈り申し上げます。

そして精一杯の応援の気持ちをおくらせていただきます。

## 上田 優さんへ



### 「在りし日の姿を偲んで」

つくし医療・福祉センター  
第一療育棟 スタッフ一同

“いつもいた場所に優さんの姿”が見られないのは、月日が経った今でも寂しいものです。第一療育棟に入所されていた上田優さんが、令和4年3月17日午前9時22分、ご家族に見守られながら天国に旅立たれました。享年39歳でした。

優さんは、平成28年6月21日、33歳の時に入所されました。第一療育棟で過ごした5年9カ月、健康管理や日中の活動などを通して、多くのスタッフと関わり、色々な経験をされました。

優さんの生前の姿を懐かしみ、令和4年4月8日、「上田優さま 偲ぶ会」が行われました。偲ぶ会では、優さんの日常の様子や、イベントに参加した際の写真をスライドショーで上映しました。

会には、お母様も参加して頂くことができ、優さんとの思い出話に花が咲きました。また、会場には、優さんに寄せられたメッセージがボードいっぱいに掲示されました。

《寄せられたメッセージの一部を紹介します》

“朝一番にSMAPやKinKi Kidsを聞きながら、リハビリをするのがとても楽しかったです”  
“名前のように優しい顔で、声を掛けると大きい目を開けてこっちを向いてくれたネ！ずっと忘れないヨ！” “「優くん、おはよう！」と声を掛けると、目をパチパチしたり、舌の先をピクピクして答えてくれたネ！その仕草、表情にいつも癒されていました。”

など、たくさんの心温まるメッセージを頂きました。

私たちは、優さんとの思い出や、関りの中から得た学びを、これからも大切にしていきます。優さんのご冥福を心よりお祈り致します。



もふもふ

## つくしっ子ニュース！！



## 「ミルクとポン」

広瀬幼保園 保育教諭

松本 恵 実

私はマンチカンのミルク。手足が短いこと、毛並みが美しいことがチャームポイントよ。ご主人は猫が大好きで毎日私にしてくれるの。「ミルク大好きよ。今日も明日も明後日も、これからもずっと永遠に」…愛が重いわ。抱っこしたりたくさん触ったり、ちょっとしつこいの。私の毛並みが汚れちゃう、綺麗に毛繕いしないと！たまになら触ってもいいけどね。ご主人に遊んでもらうのは好きよ。尻尾を振って合図を送ったら玩具で遊んでくれるの。さあ、今から紐を追いかけて全力ダッシュ！！



私はポン。元野良猫だよ。小さい頃、松本家のドアの横に座っていたら助けてくれたんだ。ご飯をくれて、雄猫に襲われたら助けてくれたり、怪我をしたら病院に連れて行ってくれたり、寒い日はカイロを使って暖かくしてくれたりと凄く大切にしてもらったよ。私の左耳を見て！その時に「さくらねこ」になったの。今は一緒にお世話してくれていた近くの家で暮らしているよ。外の怖い生活じゃなくて安心できる「ずっとのお家」。私、凄く幸せ！助けてくれて大事にしてくれてありがとう！

「さくらねこ」とは、TNR（Trap/捕獲し、Neuter/不妊去勢手術を行い、Return/元の場所に戻す、その印として耳先を雌は左、雄は右に桜の花びらのようにV字にカットをする）を実施することで繁殖を減らし、一代限りの命を大切に见守り殺処分ゼロを目指す地域猫活動の取り組みです。和歌山市を中心に活動をしている「城下町にゃんこの会」様では、このような取り組みや猫の譲渡会、野良猫相談会などを行っています。不幸な猫がこれ以上増えずたくさんの猫が幸せであるよう、できることを私も行っていきたくと思っています。



## つくしっ子レポート！ 奥純子医師37年の功績を祝う会

令和4年3月23日、つくし医療・福祉センター 奥純子医師の37年の功績と退任を祝う会が開催されました。

祝賀会には、桃山療護園でともに働いた役職員や、中谷博昭前理事長も駆けつけ、長年の積もる話に花が咲きました。

奥純子医師 略歴

昭和60年 桃山療護園に非常勤医師として入職

平成6年 桃山療護園 園長に就任、岩出療育園の診療も兼ねる

平成10年 定年退職、桃山療護園の園長

平成17年 日本重症心身障害福祉協会 永年勤続表彰

平成17年 和歌山つくし会 永年勤続表彰20年

平成20年 岩出療育園 嘱託医

奥先生が入職された時代はノーマライゼーションの理念が普及し始めたばかりで、施設入所中心の施策に地域福祉を加味する形で法律改正が進んでいた時代です。障害者の方々はまだ一般家庭で過ごされていることも多く、障害者医療というものがどのようなものか、あまり知られていませんでした。

そこで毎日猛勉強しながら、重症児の受け入れや通園事業の一般化、施設のオープン化、在宅支援のための巡回などを理想とし、長年お力を尽くしていただきました。

奥先生、これからもお体を大切にされ、障害福祉の大先輩として私たちにご指導いただきたいと思います。



## つくしっ子イタリア倶楽部 ローマの売子たち

永遠の古都、ローマ！

その魅力はオードリー・ヘプバーン主演の映画「ローマの休日」で、余すことなく表現されましたが、今もあの頃と違いなく、様々な見どころでいっぱいです。

ヘップバーン扮するアン王女とグレゴリー・ペック扮する新聞記者ジョーがベスパに二人乗りしてローマの街角をさっそうと駆け抜ける、、、サンタ・マリア・イン・コスメディン教会にある「真実の口」に手を突っ込んだ二人、（嘘をついている人は手が抜けなくなるという伝説があります）スペイン階段で食べたジェラート、、、（現在、スペイン階段での飲食は禁止されていますのでご注意！）

お金がないのに花束を買おうとした王女に一凛の花をくれた気のいい花屋の親爺。

ローマでは今日も街の至る所に花売りが出沒します。公園で愛を語り合っているカップルなどに忍び足で近付き、花売りは女性の方にいきなり薔薇を一凛差し出します。

「まあ、なんてきれいなお花！」「シニョリーナ（お嬢さん）、あなたに無料でプレゼントしますよ！」と花売り。

「あら、本当？」と思わず女性が受け取った瞬間、すかさず花売りは男性の方に向き直り、手を差し出し、「はい、2ユーロ！」と請求します。

男性は苦々しく顔をしかめながらもポケットから小銭を取り出し、花売りに支払う、というわけなんです。

これは、花売りというより、全くの押し売りですね！しかしながら、きれいな花には罪はない！

雨の日には傘売りなども出沒します。電車やバスから降りて、「あら、雨がぱらついてきたわ」と思ったその瞬間に、「傘をどうぞ！」と色とりどりの折り畳み傘を両手に持った傘売りが、あなたの頭上にいきなり傘をさしかけて、「はい、5ユーロ！」。

「高いわねえ、3ユーロにまけてよ！」などのやり取りも、中々楽しいもの。

極め付きは街角のおしゃれな花屋さんでしょうか？

「今日の薔薇はあなたのように瑞々しいよ！お嬢様方、いかがですか？」

素敵なお薔薇のブーケが8ユーロ（1,000円）くらいで、カラフルなラッピングがとっても可愛く、センスも良いのです！ああ、さすがイタリア！街角でさえアート！

「今日は気分が落ち込んでいるから、お花でも買って帰ろうかな？」なあ～んて思ったあなた、ちょっと待ってください！

何故なら、それらの美しい花々はローマ郊外の有名な墓地から盗んできたものだという噂ですよ…！



## ハラスメントは許しません!!

社会福祉法人 和歌山つくし会 理事長

谷 本 美佐子

1. 職場におけるハラスメントは、職員の個人としての尊厳を不当に傷つける社会的に許されない行為であるとともに、職員の能力の有効な発揮を妨げ、また、社会福祉法人和歌山つくし会（以下「つくし会」という。）にとっても職場秩序や業務の遂行を阻害し、社会的評価に影響を与える問題です。

性別役割分担意識に基づく言動は、セクシャルハラスメントの発生の原因や背景となることがあり、また、妊娠・出産・育児休業・介護休業等に関する否定的な言動は、妊娠・出産・育児休業・介護休業等に関するハラスメントの発生の原因や背景になることがあります。このような言動を行わないよう注意しましょう。

また、パワーハラスメントの発生の原因や背景には、職員同士のコミュニケーションの希薄化など職場環境の問題があると考えられますので、職場環境の改善に努めましょう。

2. つくし会は下記のハラスメント行為を許しません。また、つくし会の職員以外の者に対しても、これに類する行為を行ってはなりません。（なお、以下のパワーハラスメントについては、優越的な関係を背景として行われたものであることが前提です。）

「ハラスメント防止規程第2条の「業務の適正な範囲を超えて、精神的・身体的苦痛を与える又は職場環境を悪化させる行為」とは、次のことをいいます。

### <パワーハラスメント>

- ①隔離・仲間外し・無視等人間関係からの切り離しを行うこと
- ②私的なことに過度に立ち入ること
- ③業務上明らかに不要なことや遂行不可能なことの強制、仕事の妨害を行うこと
- ④業務上の合理性なく、能力や経験とかけ離れた程度の低い仕事を命ずることや仕事を与えないこと
- ⑤暴行・傷害等身体的な攻撃
- ⑥脅迫・名誉棄損・侮辱・ひどい暴言等精神的な攻撃を行うこと

### <セクシャルハラスメント>

- ⑦性的な冗談、からかい、質問
- ⑧わいせつ図画の閲覧、配布、掲示

- ⑨その他、他人に不快感を与える性的な言動
- ⑩性的な噂の流布
- ⑪身体への不必要な接触
- ⑫性的な言動により他の職員等の就業意欲を低下させ、能力発揮を阻害する行為
- ⑬交際、性的な関係の強要
- ⑭性的な言動に対して拒否等を行った部下等職員に対する不利益取り扱い

<妊娠・出産・育児休業・介護休業等に関するハラスメント>

- ⑮妊娠・出産、育児・介護に関する制度や措置の利用を阻害する言動
- ⑯妊娠・出産、育児・介護に関する制度や措置を利用したことによる嫌がらせ等
- ⑰妊娠・出産等したことによる嫌がらせ等
- ⑱妊娠・出産、育児・介護に関する制度や措置の利用等に関し、解雇その他不利益な取り扱いを示唆する行為
- ⑲部下が妊娠・出産等したことにより、解雇その他の不利益な取り扱いを示唆する行為

3. この方針の対象は、正規職員、契約職員、臨時職員・登録職員、非常勤職員、嘱託職員、派遣職員、パート・アルバイト等、つくし会において働いているすべての職員です。

セクシャルハラスメントについては、上司、同僚、取引先の方等が行為者になり得るものであり、異性に対する行為だけでなく、同性に対する行為も対象になります。

また、被害者の性的指向または性自認にかかわらず性的な言動であればセクシャルハラスメントに該当します。

妊娠・出産・育児休業・介護休業等に関するハラスメントについては、妊娠・出産等をした女性労働者及び育児休業等の制度を利用する男女労働者の上司及び同僚が行為者となり得ます。

相手の立場に立って、普段の言動を振り返り、ハラスメントのない、快適な職場を作っていきます。

4. 職員がハラスメントを行った場合、就業規則第46条、臨時職員・登録職員就業規則第43条「制裁理由」に該当することとなり、処分されることがあります。その場合、次の要素を総合的に判断し、処分を決定します。

- (1) 行為の具体的態様（時間・場所（職場か否か）・内容・程度）
- (2) 当事者同士の関係（職位等）
- (3) 被害者の対応（告訴等）・心情等

## 5. 相談窓口

職場におけるハラスメントに関する相談（苦情を含む）窓口担当者は別紙のとおりです。

電話での相談も受け付けますので、一人で悩まずにご相談ください。

また、実際にハラスメントが起こっている場合だけでなく、その可能性がある場合や放置すれば就業環境が悪化するおそれがある場合、ハラスメントにあたるかどうか微妙な場合も含め、広く相談に対応し、事案に対処します。

相談には公平に、相談者だけでなく行為者についても、プライバシーを守って対応しますので安心してご相談ください。

## 6. 相談者はもちろん、事実関係の確認に協力した方に不利益な取扱いはいりません。

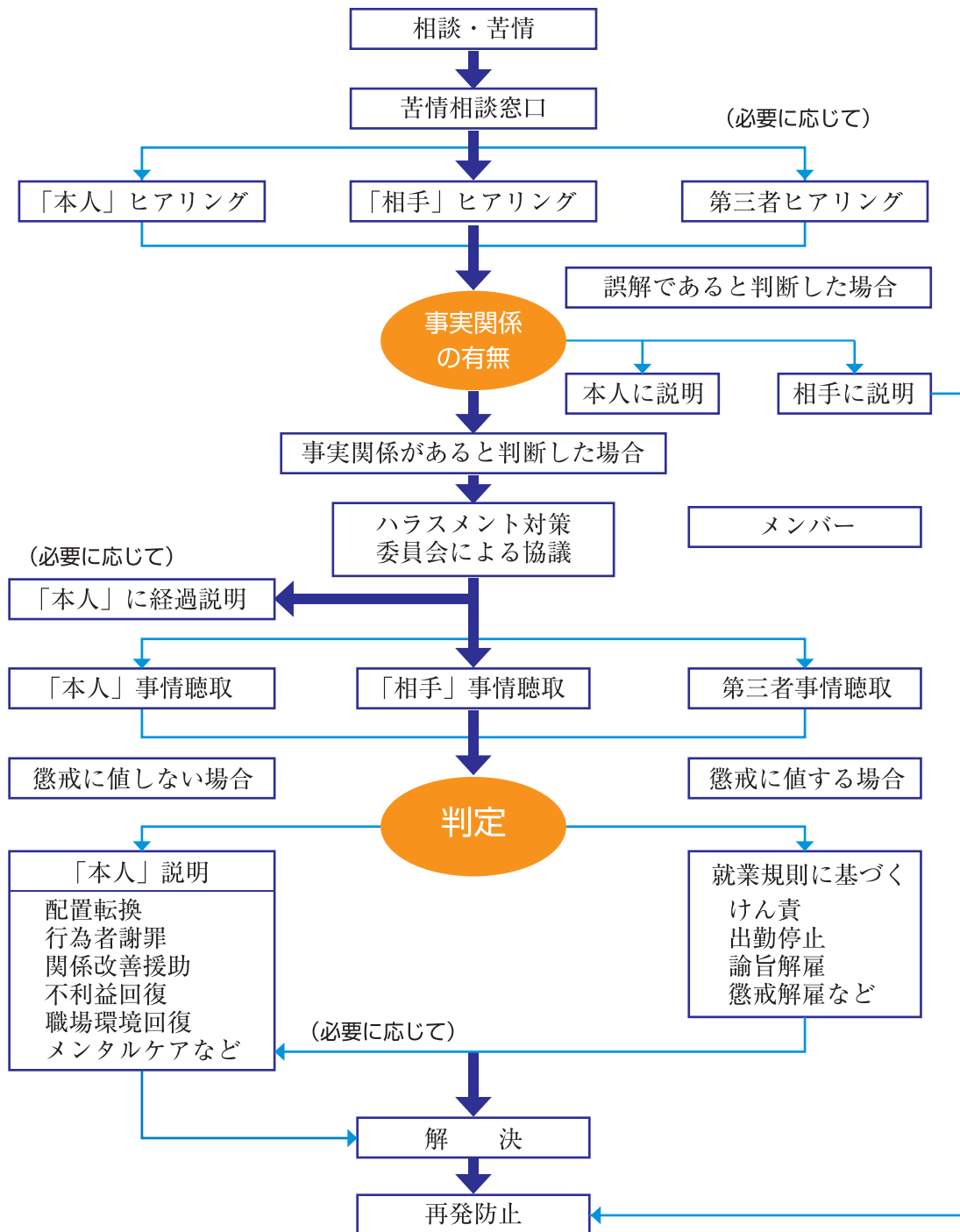
7. 相談を受けた場合には、事実関係を迅速かつ正確に確認し、事実が確認できた場合には、被害者に対する配慮のための措置及び行為者に対する措置を講じます。また、再発防止策を講じる等適切に対処します。

8. つくし会には、妊娠・出産、育児や介護を行う職員が利用できる様々な制度があります。どのような制度や措置が利用できるのかを就業規則等により確認しましょう。制度や措置を利用する場合には、必要に応じて業務配分の見直しなどを行うことにより、職場にも何らかの影響を与えることがあります。制度や措置の利用をためらう必要はありませんが、円滑な制度の利用のためにも、早め相談してください。また、気持ちよく制度を利用するためにも、制度の利用者は日頃から業務に関わる方々とのコミュニケーションを図ることを大切にしましょう。

所属長は、妊娠・出産、育児や介護を行う労働者が安心して制度を利用し、仕事との両立が出来るようにするため、所属における業務配分の見直し等を行ってください。対応に困ることがあれば、本部事務局に相談してください。

## 9. 職場におけるハラスメント防止研修・講習を実施する際は、積極的に参加してください。

## 相談・苦情への対応の流れ



## 社会福祉法人和歌山つくし会 福祉サービスに関する苦情解決体制

## 1. 苦情解決責任者

(令和4年4月1日現在)

施設名	職名	氏名
和歌山乳児院	院長	和田 万智子
つくしの里こども園	園長	溝浦 美智子
広瀬幼保園	園長	佐伯 正季
つくし幼保園	園長	岡 孝江
つくし医療・福祉センター	センター長	飯塚 忠史
つくし相談支援事業所	管理者	清水 由紀夫
つくしの里多機能型事業所	管理者	井関 淳
つくしの里訪問看護事業所	地域在宅支援部長	小浦 由加里
つくしの里訪問介護事業所	管理者	濱田 拓也

## 2. 苦情受付担当者

施設名	職名	氏名
和歌山乳児院	看護部長	上山 輝子
つくしの里こども園	主任	部谷 匡子
広瀬幼保園	副園長	森 美千代
つくし幼保園	副園長	前田 典子
つくし医療・福祉センター	事務部長	中谷 政紀
	療育部長	中前 鹿奈
つくし相談支援事業所	相談支援専門員	宇田 恒久
つくしの里多機能型事業所	サービス管理者	小栗 旬子
つくしの里訪問看護事業所	管理者	石原 恵美子
つくしの里訪問介護事業所	サービス提供責任者	原田 匡美

## 3. 第三者委員

職名等	氏名	電話番号
監事	吉村 和	0736-62-2797
監事	増尾 穰	0736-62-1048

## ある日の乳児院日記 子どもの言葉

### 和歌山乳児院 広報委員

職員の髪を三つ編みにしてくれていたので「可愛くなるかな？」と職員が聞くと、おちゃまなりなちゃん（3才）が職員に「可愛くなるわよ～だって女子だもん！おしゃれしましょうよ！」と…職員は思わず「はい！そうします」と答えました。

大（だい）君（3才）と職員が会話をしていて、少し会話の内容がズレてきているなど感じた職員に、大君から逆にひと言！「ねえ～ちょっと！ちゃんと落ち着いて話聞いて！」と言われました。大君の方が上手でした。

海（うみ）君（3才）。院内ですれ違う職員に対して「あ～～ら〇〇さん！」と声をかけてくれます。

近所のおばさん同士の会話の身振りで、どこで覚えたのかしら……。

おもちゃのメガネをリス部屋の子も達に渡したら、職員に「掛けてみて！！」とせがむので掛けて「どう？？似合う？」と聞くと、子ども達ひと言「おっちゃんやな！！」と…何を言われてもとっても可愛い子ども達です。

まりちゃん（3才）。お外遊びに園庭に出ると「日に焼ける。」と、女子力の高い3歳児でした。

## 編集後記

コロナがやっと一段落し、ほっとし始めたその時期とほぼ同時に始まったロシアの突然のウクライナへの侵攻。毎日ニュースで流れる悲惨な映像に世界の人々が戦慄したことは言うまでもありません。言葉の通じない世界、武力を使っての現状変更、繰り返される侵略と悲劇。

世界の大国がその重要な責任を果たすどころか、水面下で紛争を煽り、前向きな調停をすることなく、一方通行のニュースだけを発信し、巻き込まれていく周辺諸国。

これら世界各地での数々の紛争による悲劇は何年にもわたって続っていますが、最近の手法は映像を通しての報道に拍車がかかり、なお一層プロパガンダの力が増したと言えるでしょう。

今後の我が国の方針によっては、私たち社会福祉法人も大きな影響を受けることは必須だと思われませんが、今すぐに大きな流れには逆らえないとしても、日々法人の体力をしっかりと蓄え、備えておくことが大切だと感じております。

一日も早く、この戦争が終り、世界の人々が平和で安心して暮らせる日々が来ることを願っています。

つくしジャーナル編集部 谷本